

令和7年度絆力を活かした震災復興支援事業補助金交付決定事業一覧

| No. | 団体名 | 事業名 | 事業概要 | 補助金額 |
|-----|--------------------------------|--|--|---------|
| 1 | 特定非営利活動法人移動支援Rera | 復興から取り残された被災者に寄り添い、暮らしやすい地域を創る移動支援事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○住民同士の助け合い送迎 障害や高齢、心身の不調、孤立、経済困窮等により、命と生活に必須な移動手段を持たない住民を対象とした、住民互助のボランティア送迎活動を行う。 ○福祉有償運送 ○付き添いつきお出かけ送迎 ○地域の移動の担い手発掘・育成 ○広報事業 機関紙「かぜのたより」等を通して活動内容、事業進捗を報告し周知を行い、継続的に被災地の情報を知ってもらい、支援者に関心を持ち続けてもらう。また、SNSやホームページ等を活用した発信を継続する。 | 5,600千円 |
| 2 | 特定非営利活動法人Switch | 校内居場所カフェを震災後支援から常時の支援へ繋げていく事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○高校内居場所カフェ「NOTECafé」事業 1.各学校毎の重点目標（テーマ）に応じたNOTECafeの実施、運営。 2.各学校の生徒のニーズに合わせた支援内容の実施 3.生徒への周知を在学中から卒後のサポートまで拡大する ○地域ネットワークとアドボカシー・人材育成事業 県内の現場教職員、教育行政職員、地域の若者支援団体等と顔の見える関係性を構築し、ネットワーク会議や研修を実施。県内での高校内居場所カフェの現状や他地域の取り組み等の共有、ネットワークとして予算化の提言等を実施。 | 3,916千円 |
| 3 | 一般社団法人プレーワーカーズ | 子ども支援団体・機関の絆力を強化し、“ONE TEAM”で県全域の子どもを元気にする取組 | <ul style="list-style-type: none"> ○避難してきた子どもと親子の心のケアを目的とした拠点運営 津波により沿岸部から避難してきた子ども・親子を含めた地域住民対象の遊び場・居場所づくり。一軒家の庭を開放して、子どもも保護者も自由にのんびり過ごす場を提供する。 ○子どもと親子のコミュニティ再構築を目指す外遊び（新規事業） 名取市の十三塚公園にて、定期的な外遊びの機会を作ることで子ども同士、親子同士の繋がりを再構築していく。 ○遊び場・居場所づくりの伴走支援 遊び場づくりの活動が少ない地域をメインターゲット据えつつ、公募型で遊び場の立ち上げサポートを行う。「①打合せ、②下見、③遊び場実施、④ふりかえり」をワンセットとして、3団体で実施する。 ○外遊びを通じて子どもと関わるプレーワーカー養成講座（新規事業） ○「絆力を育む地域コミュニティづくり」シンポジウムの開催 | 5,569千円 |
| 4 | 特定非営利活動法人やっべす | 地域住民の心のケアと、つながり合えるコミュニティカフェ事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティカフェの運営（通年/月曜～水曜） 地域住民の居場所及び活動の機会として、昼食や軽食を提供するカフェを週3回、月12日程度実施。 ○ワークショップの開催 モノづくりや書道、防災等をテーマとしたワークショップの実施を通じた、地域住民の交流の場の提供。 ○ボランティア養成講座の実施 地域住民同士の互助意識の醸成や、自分の地域での役割等に気づく機会として、ボランティア説明会と養成講座を実施 | 2,212千円 |
| 5 | 特定非営利活動法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク | 遊び場づくりによる地域の絆ネットワーク事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○地域と連携した遊び場づくりの実践 地域と連携し、地域資源を活用した遊び場活動の実践するとともに、自ら実践しようとする市民を支援する遊び場づくり活動を行う。 ○遊び場づくりのノウハウの提供 遊び場づくりに取り組みたい市民を育成する現場研修と、育成の仕組みづくりをする。また、屋外の遊び場づくりを支援する学習会・交流会を開催し、屋外の遊び場づくりの様々な取り組みモデルの提示を行う。 | 2,898千円 |
| 6 | 特定非営利活動法人こども∞感ぱにー | ごちゃまぜプロジェクトー地域で子どもを支える『あたり前』とファミレス型の支援体制構築 | <ul style="list-style-type: none"> ○プレーパーク週3日開催(8月以降) 平日1日15:00～17:00、土・日曜10:00～16:00に開催。 ○子どもと地域住民の交流企画として、地域子ども食堂(月1回)、交流イベント、地域住民の趣味クラブを実施。 ○新規プレーパークづくり ○ふるさと先生！伝承会(地域住民と子どもを繋げるワークショップ) ○地域で連携した支援が必要な際に、ケース会議やSSW会議等に参加し、地域支援者と顔の見える関係を構築するケース支援を行う。 ○子どもと住民と協働した地域づくり 渡波地区まちづくり協議会や教育委員会、コミュニティスクール等の会議体に参加し、住民のニーズの把握と地域のキーパーソンとの関係性を構築していく。 | 1,810千円 |

22,005千円